

## 製造業向け収益向上のための原価管理システム構築【オンラインライブ】 (4125188)

「儲かる工場」の実現に向けた仕組み、仕掛けを紹介します。一番大事なことは正しい考え方・方法と手順でやるということです。まず、本当の「原価」とは何かを明らかにし、次の一手として原価管理システムを構築します。何よりも大切なことは正しい「管理技術」に気づくことです。この管理技術の一つが原価管理です。

開催日時	2025年6月23日(月) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	ビジネススキル(業種・業務知識)、共通業務(財務・税務・会計)
カテゴリー	IS導入(構築)・IS保守 <b>専門スキル</b>
講師	八木弘泰 氏 (株式会社管理技術ラボ 代表取締役) 中小企業診断士、特種, 一種情報処理技術者。 富士通の SE として、製造業向けのシステム構築に17年間従事。 本邦初の生産管理パッケージ「MAPS-V1」を開発。2010年「管理技術」の製造業・農業他への普及、定着化のため、「管理技術ラボ」を設立し、「製造業の競争力強化」のため、超上流工程から定着化・効果測定まで「業務再構築」が実施できる「ASGUIDE」を開発し、事業展開を行っている。 注)「ASGUIDE」とは、業務再構築のため管理技術を駆使したコンセプト・メソッド・ツールを体系化した方法論
参加費	J U A S 会員/ITC : 35,200円 一般 : 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み)【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信(指定会場はありません)
対象	原価管理の設計、保守、運用を担当されているSE <b>中級</b>
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

### 主な内容

#### ■受講形態

ライブ配信 (Zoom ミーティング) [【セミナーのオンライン受講について】](#)

#### ■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

#### ■開催日までの課題事項

特になし

#### 製造業向け収益向上のための原価管理システム構築

～「儲かる工場」の実現のために「管理技術」に気付く～

残念なことに「一生懸命に間違ったことをやる」ということが散見されます。一番大事なことは正しい考え方・方法と手順でやるということです。

本セミナーは「儲かる工場」の実現に向けた仕組み、仕掛けを紹介します。まず、本当の「原価」とは何かを明らかにし、次の一手として原価管理システムを構築します。

何よりも大切なことは正しい「管理技術」に気づくことです。この管理技術の一つが原価管理です。

#### ■主な内容

##### 第1部 原価管理で利益を上げる

- すべての企業で「原価計算」は実施  
ーそれは、財務会計目的の「ドンブリ勘定」の原価計算です
- 儲けるための原価計算は「製品別原価計算」  
ー製品別とは、中間品目も部品も原価が計算できる仕組み
- 原価計算は、単純な計算

- －材料費、労務費、経費の費目毎に「単価×数量」で求める
  - －費目の設定で悩みます－目的を定め自由に費目設定する
  - －化粧品会社は材料費を容器費・原料・副原料に費目を設定
4. 原価計算の概念図
- －一般の原価計算とABC原価
5. 実際原価計算のウソ
- －コンピュータで正確に製品別実際原価表が計算されるが
6. 真の原価とは
- －本当の「製品の原価を知りたい！それは実際原価、標準原価
  - －多くのトップは、「実際原価」を知りたい
7. 真の原価は標準原価
- －実際原価は製造都度変動、製造後確定する事後情報
  - －標準原価とは、「正しい方法・手順」で製造された際の原価
8. 「正しい方法手順で制作された際の原価」が標準原価
- －歩留0、操業度100%等々の理想原価ではなく、現行のレベルの生産技術等を加味し、かつ科学的に設定された原価
9. 正しい実際原価を求める解決策は
- －「基準・標準」の存在に対して、「実際」を把握し、「差異」を改善
  - －原価は、前述の単価×数量ですから、単価差異＋数量差異＝原価差異
  - －さらに単価差異をドリリングして、操業度差異、予算差異等を把握改善
10. 原価管理は標準原価と実際原価で成り立つ
- －基準・標準の無い仕組に「管理は存在しない」＝管理技術の基本
11. 何が何でも「標準原価」の仕組を作る。（部品・原材料）
- －原価標準を設定する
  - －5%程度、「作業標準」を真面目に設定、他の品目はポイント法で設定

## 第2部 原価管理システム構築手順

1. 目的の選択
- －財務会計に正しい原価を提供したい
  - －特定の製品の実実際原価を知りたい
  - －商談毎の見積原価を算出したい
  - －限界利益から製品のプロダクトミックスを
  - －原価低減を継続的に実施したい
2. 原価計算の選択
- －商的工業会計
  - －特殊原価調査と原価計算制度
  - －見積原価計算
  - －直接原価計算と全部原価
  - －標準原価と実際原価：原価管理
3. 原価管理の構築手順
- －目的の選択
  - －原価低減を継続的に実施する
  - －抜本的構築と暫時的構築
4. 設計項目と方法
- －費目の設計
  - －原価部門の設計
  - －チャージ計算
  - －製造間接費の配賦基準
  - －ABC原価
5. 定着化と管理職の役割

## 第3部 管理技術で利益を上げる

1. 管理技術による利益の獲得（利益率5割アップ）
- －「管理技術による利益」
  - －獲得される「利益項目」の説明
  - －「業務再構築（BPR）」の目的は、「新たな利益の獲得」その一部が原価管理
2. 管理技術とは
- －業務知識ではない

－「正しい考え方・正しい方法手順」が存在する

### 3. 業務毎の正しい方法手順とは－各業務の目的は何か

－在庫管理：「在庫精度の維持」が目的…在庫低減ではない

－工程管理：「作業指導」が目的

－某社の工程管理のタブレット失敗例 製造業向け収益向上のための「原価管理システム構築手順セミナー」

#### <受講者の声>

- ・原価管理について、初めてしっかりとした説明を受けましたが、たいへん分かりやすかったです。
- ・八木講師の原価管理のセミナーは以前にも何回か拝聴していますが、受講の都度新しい気付きや発見があります。実践に基づいたお話しなので、知識の習得はもちろんですが、実用的でリアリティがあり非常に参考になります。
- ・業務で原価に関わる機会はありませんでしたが、中身について学ぶ機会は無かったので勉強になりました。今まで正しいと思い込んでいた内容が、実は本当の正しさと異なる、という気付きになりました。今回学んだ内容を活かしたいと思います。